

出石焼

【産地組合】出石陶磁協同組合

（産地紹介）

出石焼は、約2000年前に天日槍命（あめのひぼこのみこと）が陶土を従えて但馬出石に到来し、衣食住に必要な食器類を焼いたことに始まったと伝えられています。

江戸時代中期に地元で大量の白磁の原石が発見されたことから、藩主の援助を受け今の佐賀県有田町の陶工を招いて、出石の城下町で磁器作りをしたのが始まりとされています。

出石は、磁器の中でも唯一無二の「純白」を誇る白磁の産地です。また、その美しさを引き立てる彫刻の技術は、とても高度なものです。絹の肌を思わせる出石焼は清楚な風情を持ち、優雅で気品にあふれています。

